

# 市川町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

## 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

水田農業のウェイトが高い本町農業にとって、米の計画的生産の実行確保と合わせて、適地適作を基本に、実需要者ニーズに対応した麦・大豆・小豆等の生産振興や地域の特色を生かした地域特産物等の定着化を進めることが必要である。

## 2 作物ごとの取組方針等

### (1) 主食用米

需要動向に応じた計画的な米の作付けを行う。消費者ニーズを踏まえながら、良食味米への転換、環境にやさしい生産技術の導入により、付加価値の高い売れる米づくりを推進する。

### (2) 非主食用米

#### ア 飼料用米

取り組み農家へ農地集積し栽培面積の拡大を図る。

#### イ 米粉用米

不作付地等を活用しつつ、生産の取り組みを進める。

#### ウ 新市場開拓用米

不作付地等を活用しつつ、生産の取り組みを進める。

#### エ WCS 用稲

地域の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積を維持する。

#### オ 加工用米

取り組み農家へ農地集積し栽培面積の拡大を図る。

#### カ 備蓄米

不作付地等を活用しつつ、生産の取り組みを進める。

### (3) 麦、大豆、飼料作物

排水対策や適期防除などの基本技術の徹底により品質・収量の向上を図るとともに、団地化や担い手への土地の集積等により低コスト化を推進し、現行の麦・大豆の作付け面積を維持する。

### (4) そば、なたね

不作付地等を活用しつつ、生産の取り組みを進める。

### (5) 高収益作物（野菜等）

新規就農希望者の受け入れ体制を整備し、有機栽培による少量多品目の野菜生産を振興する。

## (6) 畑地化の推進

野菜など畑作物の本作化の取り組みを進める。

### 3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	441	441	433
飼料用米	2	2	2
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS 用稲	20	20	23
加工用米	9	9	10
備蓄米	0	0	0
麦	120	120	120
大豆	49	50	50
飼料作物	33	35	35
そば	0	0	0
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	134	139	143
野菜	83	85	87
花き・花木	4	5	5
果樹	6	6	6
雑穀	33	35	37
その他	8	8	8

### 4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標	
				現状値(29年度)	目標値(32年度)
1	小豆	二毛作助成(特産物)	作付拡大	29ha	32ha
2	麦、大豆	担い手集積加算	作付拡大	77ha	80ha
3	大豆	担い手二毛作加算 (特産物)	作付拡大	14ha	17ha
4	戦略作物を除く、出荷 販売を目的として生産 される高収益作物	基本助成 (出荷販売用一般作物)	作付拡大	11ha	14ha
5	みつ源れんげ	基本助成 (みつ源れんげ)	作付拡大	8ha	11ha

6	地力増進作物	二毛作助成（地力）	作付拡大	11.3ha	0ha
7	麦、大豆、飼料作物、 飼料用米、米粉用米、 WCS用稲、加工用米、 そば、なたね	二毛作助成 （戦略作物等）	作付拡大	65ha	68ha
8	飼料作物、飼料用米、 WCS用稲	耕畜連携助成（わら利用、 水田放牧、資源循環）	作付拡大	24ha	27ha
9	飼料作物、飼料用米、 WCS用稲	耕畜連携助成（わら利用、 水田放牧、資源循環） （二毛作）	作付拡大	0ha	0.3ha